

2023年6月23日

各位

株式会社北洋銀行

RYOSHO GROUP(凌霄グループ)様の『SDGs宣言』策定を支援しました！

北洋銀行(取締役頭取 安田 光春)は、お客さまのSDGsへの取り組みを支援するため「SDGs宣言サポート」を提供しています。今般、株式会社凌霄様(北海道札幌市、代表取締役 佐々木 勇輔様)を中核法人とする「RYOSHO GROUP(凌霄グループ)様」が本サポートを利用し『SDGs宣言』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

当行は今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

1.会社概要

中核法人名	株式会社 凌霄
所在地	札幌市白石区中央2条3丁目6番24号
代表者	代表取締役 佐々木 勇輔
業種	建設業

2.重点項目



※SDGs宣言の詳細は別紙をご参照ください。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。



RYOSHO GROUP (凌霄グループ)

SDGs宣言



2023年6月23日

株式会社 凌霄

代表取締役 佐々木 勇輔

SDGsの達成に向けた取組

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

● 技術と知識を未来につなぎ、持続的な北海道の土木建築事業の推進

ドローンを活用した建設業のDXに取り組み、建設業全体の労働環境を改革するとともに、洋上風力発電の普及など地球環境の負荷軽減に向けた活動を推進し、北海道の建設業の持続的な成長に貢献してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・ドローンを活用した業務環境改善
- ・環境配慮型車両の導入
- ・ペーパーレス促進に向けた社内DX化
- ・物件解体時の廃材を活用した当社事務所建設
- ・洋上風力発電設置事業への参加



● 従業員が安心して働ける持続可能な社内環境づくりの整備

健康経営優良法人認定の取得など健康経営を推進するとともに、各種資格取得の支援、男性の育児休暇取得支援などにより、従業員が安心して働ける社内環境づくりを推進してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・男性の育児休暇の取得
- ・法人契約による従業員の医療保険加入
- ・資格取得支援制度の導入
- ・健康経営の推進 (健康経営優良法人認定取得、定期健康診断の実施)
- ・高齢者延長再雇用制度の整備
- ・社員寮などの福利厚生制度の拡充



● 透明性の高いガバナンスとコンプライアンスの実践

従業員のコンプライアンス意識を高め、業務品質の向上を図るとともに、スピード感のある安定した業務運営体制を構築し、社会そしてお客様から信頼される企業を目指してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・行動規範の整備、社内研修実施によるコンプライアンス意識の定着
- ・事業継続計画 (BCP) の策定
- ・飲酒運転防止の徹底 (アルコールチェックや研修の実施)
- ・災害時の電源設備として太陽光パネルの導入



● 地域社会の成長に貢献し、より良い街づくりを推進

地域の「受け皿」のようなグループを目指し、地域振興や社会貢献活動を行っていくとともに、地元人材の積極採用を通じて地域社会の活性化に貢献出来るよう活動してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・周辺地域のゴミ清掃ボランティア活動
- ・町内会での除雪排雪ボランティア活動
- ・地域活性化イベントへの積極的な参加
- ・交通安全運動として横断歩道での旗振りボランティア



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。